マタイ効果：金持ちは、より金持ちに、貧乏はより貧乏になりがちな理由

マタイ効果とは、高い地位に居る者は富を集めやすいと言う意味です。

例えば、著名な科学者と無名の科学者が居て、二人とも同じ発見をしても、著名な科学者の方がその発見による報酬を集めやすいと言う事です。

例えば、何時しか、ハリーポッターの作者であるJKローリングス氏が偽名で本を出版しましたが、さほど売れなかったそうで。しかし、自分の正体を明かした矢先には、その本はベストセラーになったとか。

要するに、実力か運か、一発でも大きく当てれば成功者としての香りはそう簡単には体から消えないと言う事です。

このマタイ効果、運よく成功した人間も纏う覇者の衣ですので、一概に成功者はそれ相応のスキルや能力があって成功した、もしくは成功するにはスキルや能力が必ずしも必要と言うよくある論理が破綻したりもするのです。

過去の栄光に縋る者を人は悪く言いがちですが、その栄光はそうは消えない光。それに頼り続けるのも利口な選択であると言えるでしょう。

その他にもこのマタイ効果。小さなアドバンテージがあると言う事で未来は大きく変わると言う事も意味しています。家が裕福であれは様々な資源へのアクセス権が手に入ったり。先生に気に入られれば、成績の贔屓から高校大学への推薦など、未来を大きく変える要因になるのです。

マイクロソフト会長のビル・ゲイツさえもこのマタイ効果の恩恵を受けたと言っても過言ではありません。ゲイツ氏は裕福な過程で育ち、インターネットの発足当初、インターネットにアクセス出来た数少ない人間でした。ゲイツ氏は別に世界一のプログラマーではありませんが、その先行利益によって、他の人間よりも早くマイクロソフトと言うパソコンの基盤、プラットホームを作成する事が出来たと言っても過言ではないでしょう。

そしてこのマタイ効果、勉強や読書にも通ずる部分があります。最初は理解できない事でも、少しずつ知識を積み上げれば、その貯蓄を活かして、新たな本を読む時に本の内容をあなた自身が持つ知識と組み合わせたり、理解力を深める事も出来るわけです。

マタイ効果。一度掴んだ栄光がどれほど、長引くかを知り、ちょっとのアドバンテージがどれだけあなたを遠くへと運ぶ事が出来るかと言う事を考えたら、他者や自分自身の成功する事や名前をブランディングする事の重要性、小さな事を積み上げて行けば、後々、自分が楽になるかもしれません。

